

# いぞんしょう ギャンブル依存症 1

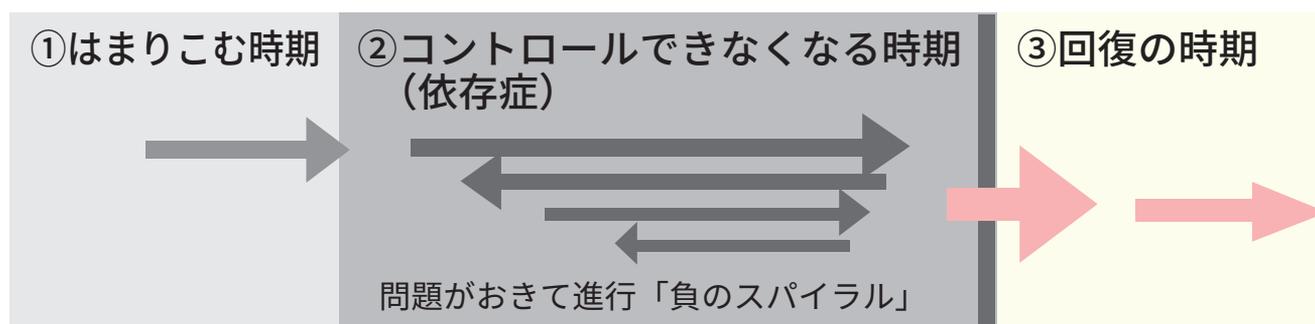


ギャンブル依存症は回復できる病気です。ひとりだけで抱え込まずに、相談できる人から、相談に行きます。

## びょうき ●どんな病気？

自分の意志では、ギャンブルをやめられなくなる病気です。

## ●どんなふう to 病気がすすむの（経過）？



## ●どんな問題が起きるの？（例）

<b>借金</b> 	<b>仕事、育児 家事への影響</b> 	<b>人間関係に ヒビ</b> 	<b>気持ちの 落ち込み</b> 
---------------	-----------------------------	-------------------------	--------------------------



\*どこからが依存症？ ... 問題が起きているにもかかわらず、やめられない、コントロールできないのが「依存症」です。「借金をしてまでギャンブル」はわかりやすい依存症のサインです。

## ●どれくらいの人がいるの？ギャンブルの種類は？

生涯 [ しょうがい ] で依存症が  
うたがわれる人が 3.6%

ギャンブルの種類には、パチンコ、スロット、バカラ、競馬、競輪、オートレース、競艇、麻雀などがあります。

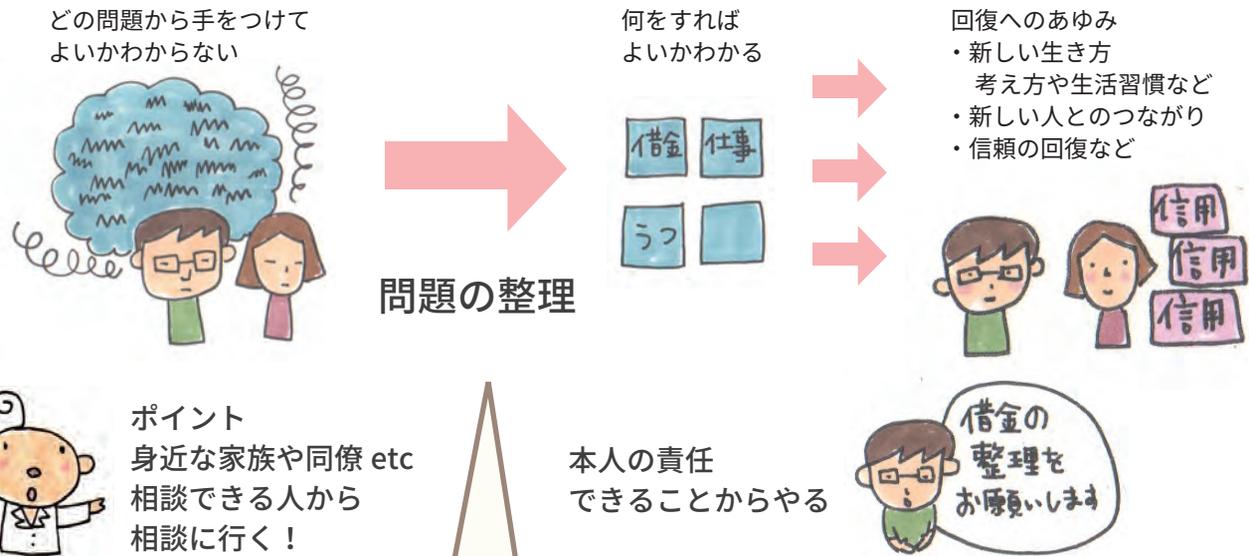
\*厚生労働省研究班 平成 29 年度全国調査

# いぞんしょう ギャンブル依存症 2



回復の過程はひとりひとりちがいます。自分にあった道すじを見つけます。

## ●回復のサポートになることは？

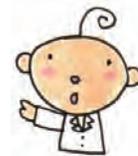


### サポーターにつながる つながりやすいところへ

- 自助グループ
- 家族の自助グループ
- 会社の上司、同僚
- ギャンブル仲間ではない友人
- 弁護士、司法書士
- 医療機関
- 精神保健福祉センター
- 保健所などの相談機関 など

## ●借金はどう対応したらよい？

まわりの人が借金を肩代わりしないことがとても大切です。本人が借金の相談をできる窓口へ相談します。本人が行かないときは、家族から相談に行きます。



### まわりの人が借金を肩代わりしない

※相談できるところ  
役所の借金相談窓口（無料）

※このシートの全文、さらによく詳しい情報はウェブサイトでご覧いただけます。

子ども情報ステーション  
ギャンブル依存症

検索